

た。ご購読をおすすめする次第である。

(中西 淳朗)

〔早稲田大学出版部、新宿区戸塚町一―一〇四―二五、電話〇三―三二〇三―一五五一、二〇〇二年五月三十一日、A五判、三八一頁、定価本体八五〇〇円〕

野間 祐輔 著

『二宮敬作と彼をめぐるひとびと』

今回、図らずも広島呉市の野間祐輔先生著『二宮敬作と彼をめぐるひとびと』の書評を求められる榮に浴したのは敬作出身に近い宇和島在住の為かと思っている。

著者は九州大学医学部卒の皮膚泌尿器科で郷里の呉市で医院を開業されていた。

前書きで著者が二宮敬作の名を知ったのは、呉秀三先生の『シーボルト先生(その生涯及び功業)』であると述べておられる。著者のもう一つの出版物『呉家のひとびと』を送られて、呉秀三先生の先祖が愛媛県中島町から呉市に移住したことを知った。

この本より著者は以前より医学史に興味をもたれており、また松山高専学校に学ばれ愛媛とは太い絆でむすばれているのでこのような本が生まれたのではと推察する。

通読すると、二宮敬作の生い立ちから始まり、その時代背

景や巡り会ったひとびとについて、エネルギーシユに資料を収集し、敬作ゆかりの地、保内町や卯之町、宇和島、そして長崎まで足を運び地元からも直接取材を行うなどの努力に全く感服する。敬作に関する著作ではこれ程詳細に記述されたものを知らない。

農民出身の敬作が鎖国された時代に藩主の命でなく、自らの意思で長崎遊学を決心し、苦学しながら蘭方医になった事は驚きである。シーボルトの鳴滝塾で学び、やがてシーボルトの江戸参府に選ばれて同行し富士山の測量を行ったり、學術調査に深く関わった事がシーボルト事件で門人中最も重い刑を受ける事になった。その後故郷に近い卯之町で開業しシーボルト医学の外科を継承した。その間シーボルトの娘イネを養育し日本の女医一号に育て上げた。敬作が関わった人々、シーボルト、その娘イネ、高野長英、村田蔵六、三瀬周三等について多くの資料を駆使し、また三〇枚程度の各地の史跡の写真や地図、系図も収載されており、興味深くよめる。

地元の人からみると、勤勉実直でどちらかというところあまり面白みのない人間ととられていたが、シーボルトと深く関わったが故に著者曰く、ドラマチックで人間愛に満ちた人生を送ることとなったのではと、思う。宇和島について、村田蔵六設計の権崎砲台跡に蔵六を顕彰する碑もなく、市内には敬作やイネの住居跡を示す標識もないとの指摘をうけ、地元の人間にとり恥じ入るばかりである。残念なことに本書は非売品となっている。

(萩山 正治)

〔非売品、平成十三年十二月十日発行、A五判、六七頁〕

酒井 シヅ 著

『病が語る日本史』

著者の酒井シヅ教授は昭和四十二年に小川鼎三先生について、医史学研究生活に入られ、平成三年には順天堂大学医史学教授として、全医科大学中唯一の専任教授として、医史学の啓蒙と普及のため、全エネルギーを傾倒してこられたことは万人のよく存じているところである。

昨年三月停年退官の際の記念出版『東と西の医療文化』を見るまでもなく、三十数年間にもなされた著書、論文、随想の数は膨大なもので、ひとり国内のみでなく、国際的にも深く評価されている。

なかでも昭和五七年に出版された『日本の医療文化史』（六百余頁）は、教授の研究生活を代表する名著であると信じている。

昨年退官後は客員教授として、すべてにリラックスしておられる事と思っていた時、この様な一般人にも理解しやすい書物を出版されたことに、著者の見識の広さ、深さに改めて敬意を感じる。

まず書物のカバーであるが、厚手の艶のある白色の紙面に

カラフルな錦絵が印刷してあり、本の内容とよくマッチする。

内容は三部に分かれる。

第一部 病の記録

骨や遺物が語る病、古代人の病、疫病と天皇、糖尿病と藤原一族、怨霊と物の怪、マラリアの蔓延、寄生虫との長いつきあい

第二部 時代を映す病

ガンと天下統一、江戸時代に多い眼病、万病のもと風邪、ハンセン病、脚気論争、コレラの恐怖、天然痘と種痘、梅毒の経路は？、最初の職業病、赤痢、「命定め」の麻疹

第三部 変わる病気像

明治時代のガン患者、ペスト流行、事件簿エピソード、消えた病気、新しく現れた病気、平均寿命と死生観

これらの文章は物語調で書いてあり、非常に読み易いが、反面、著者にとっては論文調よりかえって書き難い点がある。これらの病のうち伝染性流行病が半分以上十五種を占めている。

私が特に印象を深くしているのは、天平七年（七三五）同九年にかけて大流行した痘瘡（天然痘、疱瘡、豌豆瘡、裳瘡）についてである。痘瘡は印度北部から中国を経て朝鮮半島へと流行してきた。天平七年新羅から北九州に上陸して東進して全国に及んだ。特に天平九年の時は百姓（一般人民）はもとより官人も多く死亡し廃朝するに至った。特に藤原不比等